



生徒のあいさつを聞く訪問団

再会、友情深める

米の高校生らと交流

佐世保南高

佐世保市の佐世保南高
 (西村暉希校長、千七十人)
 は十日、米国カリフォルニ

ア州の高校生や研修受け入れ家族を招いて、交流会を開いた。

来日したのは、同校が四年前から毎年夏に、生徒を送り出しているカリフォル

ニア州のホストファミリー、ロエスチニーさん一家や、研修中に生徒が通うデービッド・A・ブラウンミ

ドルスクールの子供、教諭ら計九人。一行は入学式を見学後、校内の国際文化交流館で昨年、現地を訪れた生徒や今夏、訪問予定の生徒ら約五十人と懇談した。

まず、一行がそれぞれ自己紹介し「今回の訪問は日本文化を学ぶいい機会になる」「両国の生徒たちがこれまでに以上に、行き来できるよう希望する」などあいさつ。生徒らも「再会で

きてうれしい」「またアメリカを訪れてみたい」などと応じ、入学式の感想や日米両国の文化の違いを話したり、記念撮影をして交流を深めた。

十二日まで滞在。十一日には書道や家庭科の授業を体験後、九十九島を観光する。